

報道関係各位

ジョルダン株式会社
山万株式会社

地域コミュニティに密着した「生活利便情報」と大規模災害発生時の「災害情報」を
一元的に提供するコミュニティ密着型スマートフォン向けアプリケーション
「ユーカリが丘 CommuCs(コミュックス)」の無料提供を開始

ジョルダン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:佐藤俊和、以下「ジョルダン」)は、
山万株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:嶋田哲夫、以下「山万」)と共同して、千葉県佐倉市
ユーカリが丘の周辺住民を対象とした「生活利便情報」と災害時の「災害情報」を一元的に提供する
Android™スマートフォン向けアプリケーション『ユーカリが丘 CommuCs(コミュックス) 以下「ユーカリが丘
アプリ」』の無料提供を3月9日より開始いたしましたのでお知らせ致します。

「ユーカリが丘アプリ」は、通常時はユーカリが丘周辺の加盟店舗・施設(約150施設 以下「加盟店」)の
おトク情報等を加盟店が直接利用者へ提供します。

また、山万が独自に収集する周辺の「医療機関情報」や「防災施設情報」などと、ジョルダンの保有する
「乗換検索サービス」、「気象情報」などをあわせ、「日常生活をより便利にする情報・サービス」と「安全・安心
な生活に必要な情報・サービス」を提供します。

なお、震災等の大規模災害が発生した際には、「インフラ・交通機関の復旧状況」や「給水所・避難所情報」、
「店舗営業再開状況など」の膨大な情報を、山万が独自に運営する「山万グループ災害対策本部(注1)」が
収集・整理し、地域に密着した「災害情報」として情報を提供します。

これにより、大規模災害発生時に起こりがちな「情報の錯綜による混乱」を抑制し、住民・利用者に対する
「生命・財産の保全と安全・安心の提供」を目指します。

情報配信・サービス提供には、にジョルダンが開発・運営するコミュニティ・クラウド・サービス「CommuCs
(コミュックス)」(注2)を基幹システムとして利用します。

山万は、ユーカリが丘を開発する「街づくり企業」として、ユーカリが丘並びに周辺地域住民の「生活利便性
の更なる向上」と、災害非常時における住民の「生命・財産の保全と安全・安心の提供」を目的とし、地域住民
に密着したハード・ソフト両面のサービス展開を今後も積極的に進めてまいります。

注1: 山万グループ災害対策本部は、大規模災害が発生した際に、ユーカリが丘を開発する山万並びに山万グループ
が協働し、被害状況の把握・住民の安否確認・情報提供・生活インフラの確保復旧・生活支援対策を一括して
行う為の組織です。東日本大震災時には、ユーカリが丘内約6千世帯の安否確認、生活復旧支援、飲料水・
非常用食料の確保・配布、防犯パトロール、温浴施設「アクアユーカリ」の無料開放等を行いました。

注2: CommuCs(コミュックス)は、ジョルダンによる運営のもと提供しているサービスで、通信(Wifi・3G)を利用し
た、コミュニティに密着したクラウド型の双方向情報配信サービスの総称です。このシステムは、ユーカリ
が丘のほか、北海道函館市、栃木県宇都宮市において、NTT東日本のタブレット型情報端末「光iフレーム」で
サービスが展開されています。

1. ユーカリが丘アプリの特徴

- ①「いつでも」「どこでも」「だれでも」街の安心・安全・便利情報を簡単に取得することができます。
- ②WEB上に散在する行政情報等を整理して一括配信するため、生活に必要な公共性の高い情報を簡単に取得することができます。
- ③生活利便情報と災害情報をひとつのアプリで配信することにより、災害時も生活に密着した「使い慣れたアプリ」から必要な情報を取得することが可能となり、「情報の錯綜による混乱」を抑制できます。

2. ユーカリが丘アプリの機能

(1) 加盟店舗・施設のおトク情報等の提供

ユーカリが丘を中心とした約150店舗・施設の利用する基本機能として「店舗情報」「イベント情報」「電子チラシ」「クーポン」「求人情報」「店舗メニュー情報」を自由に取得・利用することができます。



▲クーポン情報



▲電子チラシ

(2) 「日常生活をより便利にする情報・サービス」の提供

全国の利用者向けの便利情報として、ジョルダンが提供する「乗換案内」「電車の運行状況」「駅の出口情報」「ジョルダンライブ」「ランドマーク」「交通費等が入力可能なカレンダー」「路線図」「駅周辺地図」「徒歩ナビ」「占い」「天気情報」「グルメ情報」を無料で提供します。



▲乗換案内



▲天気情報

(3) 「安全・安心な生活に必要な情報・サービス」の提供

「自治体発表情報」や地域の防災井戸・避難所等をまとめた「防災マップ」「病院情報」「公共施設情報」「タウン誌」を無料で提供します。



▲自治体発表情報



▲防災マップ

(4) 地域に密着した「災害情報」の提供

大規模災害が発生した際に、ユーカリが丘周辺地域の住民・利用者を対象に「インフラ・交通機関の復旧状況」「給水所・避難所情報」「店舗営業再開状況など」の膨大な情報を、山万が集約・整理し、迅速かつ的確に提供します。

3. ユーカリが丘アプリの今後の展開

新機能の実装予定として、CommuCs(コミュックス)参加地域の物産品や、買物弱者を対象とした商品購入・デリバリーを可能とする「仮想物産館」機能、コミュニティの強化を目指した「デジタル回覧板」機能、自治会・地域サークルの「メッセージ 斉同報機能」、ソーシャル・ネットワーク・サービス「フェイスブック」との連動強化を計画しております。

【参考：「ユーカリが丘」概要】

1971年に開発が開始された、千葉県佐倉市に立地する開発面積245ha（計画総人口30,000人）のニュータウンで、山万株式会社が開発を手掛けています。「自然と都市機能が調和した21世紀の新環境都市」をテーマに、京成本線ユーカリが丘駅周辺の住宅・商業一体の超高層立体開発と、新交通システム「山万ユーカリが丘線」の各駅徒歩10分圏内に展開される一戸建平面開発を行っています。

本件に関するお問合せ先

東京都新宿区新宿2-1-9 第百生命ビル

ジョルダン株式会社 企画営業部 松本

03-5369-4054 <http://www.jorudancloud.jp/jorudancloud/>

以上